

願えば、夢実現！

国民・市民の生活が一番の政治へ転換

ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東3条北7丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

政権交代実現

総選挙投票当日の8月30

日、佐々木事務所で開催を見守るため待機していると、午後8時過ぎ、NHKテレビなどで開票速報の特集とともに、鳩山民主党代表に続き、佐々木隆博代議士が



牧野氏当選で万歳する佐々木代議士と北口道議(9月13日)

「北口雄幸道議と語る青空の集い」のお礼

秋冷の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、7月18日に開催した「北口雄幸道議と語る青空の集い」は、心配された雨も小雨程度でおさまり、盛会のうちに開催できました。

ご参加いただいた皆様そして会券を購入していただいた皆様に、心よりお礼申しあげ、今後とも変わらぬご支援をよろしく願っています。

ありがとうございました。

北口雄幸士別市後援会長 小貫勝太郎
北海道議会議員 北口雄幸

2期目の当選確実が報じられました。

しかし、当確情報にも佐々木代議士本人も会場に着いておらず、また選対本部長

である佐々木秀典(元衆議も事務所に間に合わず、替わって木村峰行選対委員長が勝利宣言と万歳三唱し、勝利を確認しました。

農林水産大臣政務官に就任

先の衆議院選挙で勝利させていただき、国会で2期目の任務に就かせていただくことになりました。

この間、皆様のご支援に



土刺もチェンジ

また、9月13日に行われた士別市長選挙では、民主党・新党大地・社民党の推薦を受けた、牧野勇司氏(59歳)が51票という僅差で勝利し、市長への挑戦3度目で悲願を果たしました。

これからは、佐々木代議士、牧野市長、北口道議の3人の力を合わせ、元氣なふるさとづくりを実現しなければと感じています。

心からお礼を申し上げます。また、9月18日には、鳩山総理から辞令が交付され、農林水産大臣政務官に就任しました。

国の農業政策は、「猫の目農政」と言われ、目先の対応しかしてこなかったツケが、農家の皆さんに押しつけられています。農家出身の私こそ、「戸別所得補償制度」で、農家所得の安定と担い手の確保をめざす決意です。

農林水産大臣政務官
衆議院議員 ささき隆博

第二回定例道議会報告(9月15日、10月9日)

先の衆院総選挙で政権が交代し、鳩山民主党政権が誕生。民主党のマニフェストに基づく政策の実現が動き出した中での第三回定例道議会となりました。

民主党会派としては、新政権が取り組もうとする政策転換に向けた知事の対応、自民党や中央省庁に依存して道政運営や選挙対応にあ



予算特別委員会で低温長雨被害対策や道産米普及を質問する北口道議(10月5日)

たつてきた知事の政治姿勢等を論議した。知事は、新政権について「国民や道民の暮らしを守る基本的な考

え方は、私の基本姿勢と方向性を一にする」、「北海道は、過疎化等の地方が抱える諸問題が顕著に現れており、地方再生のモデルとして支援いただきたい」と述べ

るなど、道政運営も大きな転換を迫られているにもかかわらず、真しな姿勢に欠ける発言に終始しました。

支庁制度改革も混迷

また、支庁制度改革では、

北口道議、予算特別委員会で

農作物被害対策や高校再編を質問

北口道議は、予算特別委員会で農政部と教育委員会所管事項について道の考えを質疑しました。

農政部には、長雨低温による被害状況とその対策、

条例の施行時期を来年4月1日とし、地域との協議を定めた条項を第3回定例会直後に先行施行するとの方針を打ち出し、さらに迷走が深まりました。

振興局となる地域では、道の都合である行財政改革ばかりが一方的に地域に押しつけられ、道が地域行政に果たす役割を縮減、放棄しているとの反発が根強く残っています。

また、総合振興局と振興局との広域事務のあり方などについても、北海道町村会との溝はなおも深いままであり、今後更に丁寧な説明と対応が必要と考えています。

中川商は学区外もOK

また、新品種として期待される「ゆめぴりか」について、今年は3千ヘクタールで作付され、来年は6千ヘクタール、23年産は1万ヘクタールを想定しており、種子の配分についても、系統と商系との取引で、排他的差別的になってはいけな

平成23年度から中川商業高校が、募集停止となる問題では、昨年度から創設された通学費補助事業について質問し、この事業は基本的に学区内に通学した生徒に支給されるが、中川商業については、例外的に学区外でも支給の対象にするとの回答を引き出しました。

採択された決議・意見書

直轄事業負担金廃止に伴う財政措置等を求める意見書
道州制特区に関する意見書
警察官の増員を求める意見書
北海道の自衛隊体制維持を求める意見書
改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書
重大犯罪の公訴時効廃止を求める意見書
ヒブワク

チン及び肺炎球菌(七価)ワクチンの定期接種化の早期実現を求める意見書
「児童売春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律」の改正を求める意見書
北方領土問題の解決促進等に関する意見書
総合交通体系の確立を求める意見書
北海道新幹線の建設促進を求める意見書
私学助成制度に係る財政措置の充実強化に関する意見書
ほたてがい養殖の付着物被害対策を求める意見書
地方財政に配慮した国の予算執行及び予算編成を求める意見書
温室効果ガス削減の国民的合意を求める意見書
国の出先機関に関する意見書
日米FTA交渉に反対する意見書
道路整備に必要な財源の確保を求める意見書
高規格幹線道路ネットワーク整備の推進を求める意見書
ダム事業の推進を求める意見書
全国学力テストの継続とさらなる充実を求める意見書

なお、印の8本は、自民党が提出した意見書であるが、民主党会派としては、政権公約実現に向けての従来の政策の点検作業や見直しへの議論が動き出したばかりであり、時期尚早、拙速であるなどとして反対しました。

写真で振り返る北口道議の活動記録 7~9月



富良野地区道政懇話会ご意見を伺う(7/12)



士別梯子乗り保存会ビールパーティにて(7/5)



総合政策委員会で中央要請行動(7/16)



富良野市労連青年部の必勝寄せ書き(7/12)



士別の第一声で支持を訴える佐々木候補(8/18)



佐古名寄市立病院長と意見交換(7/17)



牧野新士別市長と高橋知事を表敬訪問(9/16)



占冠村長選挙でご挨拶する中村博氏(9/1)



士別歩こつ会で上富良野町千望峠を歩く(9/27)



きたごりんファームで稲刈り収穫(9/26)

北口ゆうこう奮闘日記

http://y-kiaguchinet/

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋してご紹介します。(7月～9月分)

7月2日【上川総合開発要望】 上川地方総合開発期



期成会の皆さんから要望うける

成会の皆さんが道議会を訪れ、平成22年度事業に向けた要望書を受けた。今日の要望には、会長である島多慶志名寄市長のほか、比布町議会会牧野勝頼議長、西川将人旭川市長、能登芳昭富良野市長、池部彰南富良野町長が政策審議会室にお越しいただき、要望を受けた

要請事項としては、少子・高齢社会に対応した基盤の整備 環境重視型社会に対応した基盤の整備 高度情報通信社会に対応した基盤の整備 自然を生かした観光拠点の創出と広域観光ネットワークの形成 物流効率化に必要な高規格幹線道路網等の整備促進 基礎的な社会資本の整備 制度改正、施策の推進など。

8月17日【千人踊り】

(前略) 今日の千人踊りでは、自治会や職場、団体などから4百名が参加し、私は市議会議員の皆さんと一緒に踊らせていただいた。あいにく、肌寒い日であったが、多くの皆さんが観客



五穀豊穡を願って千人踊りを踊る

として駆けつけていただき、今年の大塩川まつりも最高潮に盛り上がった。

9月4日【作況調査】

私が代表を務める民主党北海道第6区総支部士別ブロック支部で作物状況調査を行



作柄状況を調査

った。今日の作況調査には、私のほか、佐々木隆博代議士、牧野勇司氏、士別市、士別農政事務所、士別普及センター、JA北ひびきなどの関係者が集まり、上土別の水稲と大豆などを調査した。冒頭、普及センターから今年の低温長雨による気象状況の説明を受け、6日ほどの生育が遅れているとのことのお話しを受けた。実際に現地の水田に行くと稔実割

合が70%前後で、30%不稔があることが判明した。しかも、条件によってはかなりばらつきがあることも報告され、今後の対策の必要性を訴えられた。

9月26日【まなびとくらのフェスティバル】

第39回士別市消費者展と第19回士別市ごみ減量化リサイクル展を兼ねたこのフェスティバルは、士別市消費者協会・士別市ごみ減量化推進協議会・士別市が主催し、「市民広場みなくなる」が共催し、市内30の団体が参加して開催された。今回のテーマは「安全・安心にくらせる社会を目指して」私たちの食と環境」とし、



授賞した中学生と記念撮影

食の安全や環境問題など、生活に関わる課題に対し、「見る・知る・触れる」などの体験を通じて、市民にメッセージを送ることにしている。私も「これからの政治のキーワードは、安全・安心・環境だ。この視点で道議会の中で頑張る」とのお話しをさせてもらった(後略)

【つぶやき】

今年の年頭の短冊に、願えば「夢叶う」と書かせてもらった。それは、衆議選挙での政権交代と士別市長選挙勝利を願って書いた言葉でもある。佐々木代議士は、圧倒的勝利で2期目当選を決め、農林水産大臣政務官に就任した。これから、農業政策を実現するうえで、現場の声を十分反映してほしいと思っている。また、牧野勇司氏は、3度目の挑戦で市長に就任した。本人の努力もさることながら、牧野氏を支え続けた家族や後援会の皆さんに心から敬意を表したい。このように、人生は願わなければその目的も達成できないのではないだろうか。願うこと、それは目的に向かって努力することを感じたところだ。(ゆづり)